

靴も校則もあったほうが安全だし、ゆるければいいってものじゃないらしい

子どもが通っていた保育園は1年中はだしで過ごさせる方針で、保育園に入ると靴も靴下も脱ぎ、園庭でもはだしで遊びまわっていました。

人間も動物なので、本当は、はだしで過ごしたほうがいいのかもかもしれませんが、実際には今の社会では靴をはいたほうが安全に過ごせるでしょう。



実は私は最近、靴をほとんど買い換えました。それは、シューフィッターという靴の専門家の人に自分の足を見てもらった、自分が思っていた靴のサイズと本当の靴のサイズがまったく違ったからです。シューフィッターさんが、私に合うはず・・・と選んでくれた靴をはいたとき、最初は「え？」と思いました。小さくて幅が狭くてきゅうくつで、これをはいたら足が痛くなるのではないかと思いました。「大は小をかねる」ということわざのように、靴はゆったりしていたほうが、足のためにはいいと思っていたからです。

でもシューフィッターさんいわく

「大きめの靴をはいていると、足が靴の中で前後左右に動いてしまい、無意識に足の中で自分の足がすべらないようにがんばらなくてはいけないので疲れるし、前に滑りやすいので靴下の親指に穴が開きやすくなる。また靴が脱げないように指で靴を支える必要があるため、5本の指を地面につけないようになる。また本当なら足の裏にはアーチといって曲がった部分があったほうがいいのに、靴が広いと足の筋肉も広がってしまっアーチができず、疲れやすくなる。」ということでした。

それを聞いてから、今までと同じサイズの靴をはき、そのあとにシューフィッターさんが選んだ靴をはいてみると、全然違う感じがしました。支えられているというか守られているというか・・・

そして歩いてみると、靴が足にくっついてきて、最初にきゅうくつに感じていた感覚が、安心感に変わったような気がしました。



ここで今回の題名のもうひとつのテーマ、校則について考えてみたいと思います。

人間も動物なので、本当は規則もルールもなく、自由に過ごしたほうがいいのかもかもしれませんが、実際には今の社会では、ルールがあったほうが安全に過ごせるでしょう。法律もルールもないところで、みんなが勝手なことをしていたら、安心して外を歩くこともできません。

それは校則も同じです。

本来なら校則は無いほうがいいのかもかもしれません。

でも逆に、校則があるから安心して楽だということもあります。

埼玉県の公立高校にも、制服がない学校はありますが、でも全員が私服で登校しているかといえばそうではなく、毎日着る服を考えるのが大変だからと、自分で選んだ他校の制服を着て登校する人も少なくありません。



また逆に、今は制服で学校を選ぶ時代になっていて、あの学校の制服がかわいいから、その学校を選ぶ・・・ということもあるでしょう。橘高の制服も、なかなか素敵ですよ。

素敵だからこそ、きちんと着こなしてほしくて、身だしなみや髪型についての校則があります。

また橘高に来てきちんと授業を受けられるように、欠席や遅刻の回数を決めた校則があり、それを破ったときに行われる「指導」があります。でも・・・

中学時代にあまり学校に行っていなかった・先生に注意されてこなかった・先生に注意されても指導に従わなかった。

そういう状態で橘高に来ると、わたしが今回最初に新しい靴をはいたときのように「狭くてきゅうくつでこんなところにいたら、自分はだめになるのではないか。」と思うかもしれません。

まるでいじわるのように感じるかもしれません。

でも、3年間過ごしてきて、卒業を目前にしている3年生は今どう思いますか？

もちろんきゅうくつに思っている人もいると思いますが、最初はきつい、最初はいやだと思っていた校則や先生たちの指導が、いじわるでもなければ、自分をだめにするものではないことは感じているのではないのでしょうか？

そしておそらく卒業し、就職進学したときに、橘高では校則で守られていたことを実感すると思います。

逆に、この春に進級卒業しないで「自由」を手に入れたときに、はだしで外を歩くような怖さや痛み、大変さを感じるかもしれません。

靴も校則もあったほうが安全だし、ゆるければいいってものではありません

でも、その人にあったサイズがあるのも事実です。橘高が合わない人もいます。

学年末考査が近づき、自分の人生の選択を迫られる季節がやってきます。

今はいている靴を選ぶのか(橘高での進級卒業)

違う靴にはきかえるのか(転学)

いっそのこと靴を脱いではだしになるのか(退学)



ぜひ今、しっかりと考えてみてください。自分でもどうしていいかわからなければ保健室で一緒に考えましょう。

そして自分が決めた靴(進路の選択)で、しっかりと歩き出せるように準備をして、がんばってみてください。

